

広範囲適用型水性特殊エポキシ樹脂シーラー

水性ハイブリッドシーラー

ホワイトタイプ
新設定

無機系コーティングのサイディング、 高耐候性有機塗膜の塗り替えに！

近年、建物の外装仕上げではメンテナンスサイクルの長期化等の観点から、より耐久性・耐候性の高い塗装仕上げが施されるようになりました。また、戸建て住宅等では、高耐久性・低汚染性・工期短縮の観点から光触媒や無機系のコーティング材が施されたサイディングが増加しています。これらのサイディングは塗り替え時期を迎えていますが、従来のシーラーでは付着性が十分に発揮されない場合があります。また、溶剤タイプは、臭気の問題から都心部や市街地では使用に制限を受けることがありました。そのような諸問題を解決するのが**水性ハイブリッドシーラー**です。

水性ハイブリッドシーラーは、様々な高耐久性の既存有機塗膜や前述のサイディング等、広範囲に適用できる特殊エポキシ樹脂シーラーです。また、新築においても押出成形セメント板など従来の水性シーラーでは適用困難であった基材にも塗装可能となっており、性能面・環境面ともに優れています。

特
長

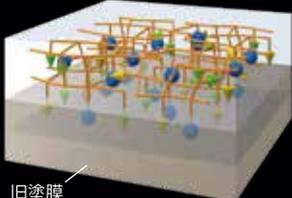
◎ 幅広い適用性

水性ハイブリッドシーラーは特殊変性エポキシ官能基及び2種類の特殊無機成分を複合化し、各種官能基を含有した2液タイプであるため、強靱な塗膜を形成し、様々な旧塗膜・基材への優れた密着性を有します。

優れた密着性メカニズム

3種類の成分で優れた付着性を実現！

トリプルアンカー効果



●：特殊エポキシ官能基 ▼▼：特殊無機成分

適用下地

窯業系サイディング：工場塗装板（光触媒コーティング、無機系コーティング、親水性コーティング等も含む）、コンクリート、PC板（現場施工）、セメントモルタル、押出成形セメント板、スレート板、けい酸カルシウム板、磁器タイル※1、硬質塩ビ※2、FRP※2、各種高耐久性の既存有機塗膜※2など

適用旧塗膜の種類

アクリル樹脂系、ポリウレタン樹脂系、アクリルシリコン樹脂系、ふっ素樹脂系

アクリルリシン、スタッコ、スキン

吹付タイル（アクリル、エポキシ、シリカ）

弾性タイル

単層弾性塗材

※1.ラスタータイルなどの特殊なタイルには、使用を避けてください。

※2.硬質塩ビFRP塗装時に光沢の残っている劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒しを行ってください。

◎ 優れた浸透性

特殊変性エポキシ樹脂は下地への浸透性が高く、強靱な架橋塗膜により固着し、下地の補強効果に優れています。

◎ 優れたシール性

コンクリート、モルタル等に対し、優れたアルカリシール効果を発揮します。

◎ 環境対応

安全に配慮した塗装環境を提供します。

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	【新築】・下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整をしてください。 【改装】・旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒を用いて除去しミラクフアンドKC-1000で段差修正し、 パターンの復元を行ってください。 ・高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れ等を除去してください。							—
下塗り	水性ハイブリッドシーラー(クリヤー・ホワイト)主剤	100	0.08~0.20	1~2	3以上	6以上 7日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	水性ハイブリッドシーラー硬化剤	7.14						

※1. 下地の種類により所要量及び塗回数が異なります。吸い込みの著しい場合は2回塗りとしてください。

※2. ラスタータイル等の特殊なタイルについては、塗装を避けてください。

※3. 被塗装面の洗浄に酸性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄後の水洗工程を入念に行ってください。薬剤が被塗面に残存したまま塗装すると塗膜の膨れ、剥がれ、白化につながる場合があります。

※4. 無機系コーティングなどが施されたサイディングボード面の中には適用できないものもあります。予め試験施工を実施し付着性を確認してください。付着性に問題がある場合は、目荒しを行ってください。

※5. 経年劣化したサイディングボード面への塗装は、表面劣化部分から剥離する場合があります。試験施工を行って付着性を確認の上、本施工に入ってください。

※6. 硬質塩ビや塗装時に光沢が残っている劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒しを行ってください。

※7. 下地がコンクリートの場合には、付着物などを除去し、下地をよく乾燥させ、含水率10%以下・pH10以下としてください。

※8. 調合は所定の割合を厳守してください。特に小分けでご使用の場合は、計量器にて計量を行ってください。また混合後の材料は、
可使時間(4時間、23℃)以内に使い切ってください。

※9. 希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので希釈は絶対にしないでください。

※10. かび、藻が付着している場合はSKKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取ってください。

※11. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件等の各種条件により増減します。

※12. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。

※13. 低温又は高湿度時には乾燥が遅くなりますのでご注意ください。

※14. 改装工事の場合は溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試験施工により確認の上、本施工に入ってください。

※15. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

※16. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。

※17. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。

※18. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので使用は避けてください。

※19. 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。

※20. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は採暖および採暖のための養生により、
雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。

※21. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて
保管し、できるだけ早めに使い切ってください。

※22. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

■素地別所要量の目安

素地の種類	目安所要量* (kg/m ²)	塗回数
窯業系サイディングボード	0.08~0.12	1
押出成形セメント板	0.08~0.12	1
コンクリート・セメントモルタル	0.10~0.20	1~2
けい酸カルシウム板	0.15~0.20	1~2

*素地別の所要量の目安となります。被塗物の形状および劣化の
程度により所要量は異なりますのでご注意ください。

適用上塗材

上塗材	水性塗料
	弱溶剤塗料
仕上塗材	リシン、ローラーリシン、弾性リシン
	スタッコ、弾性スタッコ
	吹付タイル(アクリル、エポキシ、シリカ)
	弾性タイル
	単層弾性塗材
	多意匠装飾仕上塗材

荷姿

水性ハイブリッドシーラー(クリヤー・ホワイト)主剤	14kg石油缶
★水性ハイブリッドシーラー硬化剤	1kg缶
	(標準塗坪:75~187m ² /セット)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
特に、★印のついてる製品は、溶剤形の製品であるため下記の点にご確認ください。

1. 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分に注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

■施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。



本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25

TEL 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391 北陸支店 076-266-1041 京都支店 075-646-3967 神戸支店 078-671-0451 高松支店 087-865-5411

仙台支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400 名古屋支店 052-561-7712 大阪支店 072-621-7721 広島支店 082-943-5043 福岡支店 092-629-3427

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>

